

防災体制について 小中一貫教育の推進について



田中 茂
議員

【自主防災組織メンバー補償制度の明確化を】

田中 責任に見合った補償制度の明確化は行政の責務と思う。制度への基本的な考えを問う。

市長 組織のリーダー、避難誘導や避難支援をされる方を対象とした傷害保険の対応をし、保険料は市が負担する。

【消火栓とホース格納箱は

同時設置を】

田中 消火栓のみが設置され、ホース格納箱が長期間にわたって未設置の箇所がある、早期の設置を！

総務部長 必要な箇所に設置できない箇所がある。予算確保のうえ早期に対応する。

【小中連携・一貫教育の推進を】

田中 五和小学校において、小中連携・一貫教育が進められている。その現状、成果、課題点への評価は、それに基づく今後の展望はどう考えておられるのか。

教育部長 特例によらないで、通常の教育課程でできる範囲の一貫教育を目指し、義務教育9年間を通して系統的・継続的な学習指導

や生徒指導を行っている。小1〜4を基礎期、小5〜中1を定着期、中2〜3を発展期に区分、特に、小6から中1のつながりを強化し、「学びと育ちの連続性」を図りながら、学力の向上や生徒指導上の諸問題の解決を目指している。義務教育9年間の学習システムの構築や複数の教職員が協力し、T・T指導や乗り入れ授業をしている。また、小中合同の百人一首大会、持久走大会、音楽集会など、心の教育の充実を図っている。さらに、コミュニティスクールの指定を受け、小中地域が一体となった学校運営の実現を進めている。

教育長 成果については、いわゆる「中一ギャップ」の緩和、児童生徒の学習意欲の向上、教職員相互の授業力の向上、ふるさと学習の充実、保護者・地域の協力体制の充実と大きな効果を得ており、本市における今後の小中連携のモデルになると高く評価している。今後小中のみならず、幼児小中の一層の連携を図る。

学校教育の充実について (教育現場の現状と課題解決に向けて)



下田 昇一郎
議員

【小中学校へのエアコン設置に

ついでに】

下田 さまざまな気象データからも平均気温、最高気温ともに上昇傾向にあることが伺える。夏場の暑さ対策として、6月議会の一般質問でお願いしていた小中学校等へのエアコン設置についてお尋ねする。

市長 小中学校等における空調設備の整備については、子どもたちがよりよい環境の中で教育が受けられるように、本年12月議会の補正予算にて設計委託料を計上し、平成30年から31年度までの2カ年で市内小中学校及び公立幼稚園に設置工事を行う。

下田 エアコン設置に関する以前的一般質問の回答では、設置費7億2,000万円、年間の維持費は6,000万円程度と試算しているとのことであったが、設置費用や維持費は保護者負担も必要なのか。それとも全額公費で負担するのか。

市長 現在試算中であるが、全額公費で負担する予定である。

【教職員の負担軽減について】

下田 近年大きな社会問題となっている教職員の負担軽減。さまざまな対策が必要であるが、その一つとして教職員の心身のリフレッシュを図るため、夏休みや年末年始などに3日間ほどの「完全閉庁」導入の取り組みはできないか。

教育部長 長時間労働が深刻な教職員の働き方改革については、中央教育審議会における緊急提言の内容や、国、熊本県及び県下他の自治体の動向を注視しながら、まずは試行的に、8月15日を「完全閉庁」にする等、実施していきたい。

【児童数の変化による施設の

充足度について】

下田 今後5年間で100人以上の生徒数増の予測が出ている本渡北小学校は、教室や駐車場の不足が深刻な問題であるが、今後の改善計画はどのようになっているのか。

教育部長 本年度予算にて、校舎増築に係る設計委託料を計上しており、必要な教室の整備を図るとともに、駐車場の確保にも努めていきたい。

熊本天草幹線道路 (第二瀬戸大橋) 取り組み等について



平山 泰司
議員

平山 第二天草瀬戸大橋を含む本渡道路の平成34年度完成に向け、取り組み状況と今後の整備方針についてお尋ねする。

市長 用地交渉には、昨年10月の都市計画事業認可後、直ちに着手している。工事は、平成30年度着手予定としていたが、本年9月には東町フェリー発着場跡地の橋脚工事が契約された。熊本天草間幹線道路整備促進期成会は、10月28日に「熊本天草幹線道路の早期完成を求める天草島民集会」を計画しており、今後も、平成34年度完成に向け、熊本県並びに関係機関が一体となって全力で取り組んでいくので、関係者の皆様のご協力をお願い申し上げたい。

平山 西の久保公園及び十万山の利活用並びに、今後の整備計画についてお尋ねする。

建設部長 西の久保公園は、年間約8万人にご利用いただいております。今後も、利便性向上や来園者増加に向け、花木の植栽や維持管理体制の強化に努めるとともに、新たなイベント等の企画も検討す



第二瀬戸大橋完成予想図

る。また、公園駐車場については、周辺の土地利用調査等を実施したうえで、増設の検討を行う。十万山公園では、景観阻害樹木の伐採や施設の改修、植栽等による公園の再生に取り組んでいる。実施においては、東京本渡会様をはじめ、周辺地権者・地域住民の皆様にご支援、ご協力をいただいている。市道沿線の景観回復も含め、今後も利便性向上に向けた取り組みを継続していく。

天草の観光客の受け入れ態勢・子どもの療養費無料化拡充と療養病棟の入院期間・第3種漁港の役割と受け入れ態勢



浜崎 義昭
議員

浜崎 エアラインの運賃を安くすることで利用客数の増員が可能ではないか。運賃の問題で家族での利用を差し控える方が多い。格安航空や新幹線を利用した方が良いとの声を聞く。

地域振興部長 普通運賃を格安料金並みに設定することは困難であるが、市民向け特別運賃キャンペーンを行っているので利用していただきたい。

浜崎 高校生まで医療費の無料を拡充している自治体があり、この施策で人口増に繋がっている自治体がある。天草市で行うことは可能か。

健康福祉部長 おおよそ3,800万円で見込める。

市長 今のところ考えていない。浜崎 「もうすぐ2カ月たつから、ほかの行き先を探してください」そんなふうには病院のスタッフから言われ、たとえ、病气やけがが治っていないくても、退院して自宅や介護施設へ行くか、ほかの病院に転院するよう求められる。患者・家族にとつて、たいへん深刻な問題。行き場に困る人が少なくない。「病院によっては、入院計画3カ月以内を目安とする病院が多くあ

る」とのこと。天草市が運営する病院でそのようなことがないよう要望する。

病院事業部長 療養病棟には入院期間の定めはない。個々の患者の症状により医師が判断する。

浜崎 熊本県唯一の第3種漁港(牛深)はその利用範囲が全国的なもの。天草市で水揚げされる漁港の衛生管理対策を行政は行っているか。

経済部長 衛生管理については支援していく。

浜崎 多くの漁業者は、命をすり減らして漁獲してくる。水揚げ制限(冷凍缶約23キロから26キロ入り)の漁獲物を入れる箱が不足を解除するための補助金を要望する。最高300箱までの水揚げ制限が行われている。残りの漁獲物は、水揚げされないため、無駄になっている(多い船は、約1,000箱を漁獲)。現状を把握し、魚介類を有効利用し、商品開発を行うべき。

経済部長 国・県に補助メニューがある。市としても支援をしていく。関係各課と連携し新商品開発や販路拡大に向け支援する。